

為スコトヲ得(上全)

前二項ノ保管寄託金ニ就テハ第二十七條第一項ノ規定ヲ準用スヘシ(上全)

第二十九條ノ一 前條ノ保管寄託金ハ隨時支拂ヲ爲ス場合ノ外豫メ概算等ヲ以テ拂戻ヲ爲シ置クコトヲ得ス(上全)

第二十九條ノ二 縣出納吏現金ノ保管寄託ヲ爲シ又ハ其ノ拂戻ニ就テハ受渡證據ノ明瞭ナルヲ要ス(上全)

第三十條 縣金庫ノ附屬セサル部局若クハ縣金庫所在地外ニアル縣出納吏保管ノ雜部金ニ就テハ第二十七條第一項第二十九條乃至第二十九條ノ二ノ規定ヲ準用スヘシ(明治三十六年訓令 第四十九號改正)

第六章 出納整理及決算

第三十一條 毎年度所屬歳入歳出ノ出納ハ左ノ期限迄ニ整理完了スヘシ但シ止ムヲ得サル事由ニヨリ期限内ニ出納ヲ完了スルコト能ハサルトキハ其ノ事情ヲ詳具シ知事ノ指揮ヲ請フヘシ(明治四十三年訓令 第五號改正)

一 請額巡查費納付金及三號歳出ニ屬スル過年度過誤拂返納金並ニ辨償金

二 一號以外ノ歳入金 翌年度四月三十日

三 警察費警察廳舎建築修繕費傳染病豫防費及市町村傳染病豫防補助費ノ類 翌年度五月三十日

(取換)

ニシテ其ノ精算額ニ對シ國庫ヨリ定率補助ヲ受クルモノノ歳出金

翌年度四月三十日

四 三號以外ノ歳出金 翌年度五月三十一日

第三十二條 收支命令ノ委任ヲ受ケタル部局長及現金前渡ヲ受ケタル縣出納吏ハ帳簿ノ結果ニ依リ歳入歳出及雜部金ノ收支ヲ證明スル爲メ計算書ヲ調製シ知事又ハ所管ノ部局長ニ提出スヘシ但縣金庫ノ附屬セサル部局ニアリテハ歳入計算ノ證明ヲ要セス(上全)

第三十三條 概算渡ヲ受ケタル官吏、吏員其他職員ハ精算書ヲ調製シ知事又ハ所管ノ部局長ニ其仕拂計算ヲ證明スヘシ(上全)

第三十四條 收支命令ノ委任ヲ受ケタル部局長交替シタルトキハ其ノ在職期間ニ於ケル收支ノ計算ハ後任者ノ計算ニ併セテ整理スヘシ(上全)

縣出納吏交替シタルトキハ其際打切り自己ノ責任ニ屬スル出納計算ヲ證明シ保管金ハ後任者ニ引繼クヘシ但シ自身計算書ヲ調製シ能ハサル場合ニ於テハ知事又ハ部局長ハ其ノ時々部下ノ官吏、吏員其ノ他職員ニ命シテ調製セシメ後任者立會ヲ以テ本條ノ引繼ヲナスヘシ

第三十五條 土木工費ノ類ハ竣工又ハ打切り精算ノ際計算證明ノ爲メ當該主務ノ官吏吏員其ノ他職員ニ於テ精算書ヲ調製シ知事又ハ所管ノ部局長ニ提出ス

ヘシ但シ受負人ヨリ提出シタル明細書類アルトキハ之ニ證明シテ精算書ニ代用スルコトヲ得

第七章

缺損金ノ補填、過年度歳入過誤納金還付、過年度歳出、繰越(明治四十二年訓令第五十五號及明治四十三年訓令第五號改正)

第三十六條 (削除) (明治四十二年訓令第五號)

第三十七條 部局ニ於ケル缺損金ノ補填過年度歳入過誤納金還付及過年度歳出ノ仕拂ヲ要スルトキハ知事ノ指揮ヲ請フヘシ但シ縣金庫ノ附屬セサル部局ニアリテハ所管部局長ニ移牒スヘシ(明治四十二年訓令第五十五號改正)

第三十八條 (削除) (明治四十三年訓令第五號)

第三十九條 繼年期事業費ノ仕拂殘餘ヲ翌年度ニ繰越シ使用ヲ要スルモノアルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ知事ノ決定ヲ請フヘシ
第四十條 毎年度三月三十一日ニ於ケル保管ノ雜部金ハ同日ニ於テ翌年度ニ繰越スヘシ

第八章 工事ノ他物件賣買貸借

第四十二條 歳入歳出豫算令達ヲ受ケタル局長若クハ現金前渡ヲ受ケタル官吏、吏員其ノ他ノ職員ハ豫算若クハ前渡金ノ目的ニ依リ工事其ノ他物件ノ賣買貸借ヲ契約シ及執行スヘシ但シ他部局ノ主管ニ屬スル歳入歳出ノ收支ノミ

(取換)

○島根縣物品會計規則

明治三十五年三月十七日 島根縣訓令第十九號

知事官房 内務部 警察部 島 廳
郡役所 縣立學校

島根縣物品會計規則左ノ通り改正ス但シ様式ハ別ニ頒ツ島根縣物品會計規則

第一章 總 則

第一條 縣經濟ニ屬スル物品ノ會計ハ別段ノ規程アルモノ、外總テ此ノ規則ニ依ルヘシ

第二條 此ノ規則ニ於テ部局ト稱スルハ警察部、島廳、郡役所、警察署、警察分署、縣立學校、農事試驗場、農事試驗場分場、水産試驗場、測候所、醫病豫防事務所、醫病豫防事務所支所、原蠶種製造所、農事講習所、種畜場、病院、驅病院及土木管區員派出所市役所ヲ云フ(三十八年訓令第二十八號四十年四月訓令第十四號及四十二年訓令第三十號四十二年訓令第三十號改正)

第三條 此ノ規則ニ於テ物品ト稱スルハ器具、器械、圖書、筆紙、墨、薪、炭、油、動物其ノ他動産(船舶、艇及其ノ附屬物品ヲ除ク)ヲ云フ

第四條 物品出納ノ命令ハ縣廳(警察部ヲ除ク)ニアリテハ内務部長部局ニアリサハ部局長ニ之ヲ委任ス(四十三年訓令第三十號改正)

第五條 部局ニ於ケル物品ヲ取扱ノ縣出納吏以下單ニ縣出納吏ト云フハ部局長ニ於テ部下ノ職員ニ之ヲ命スヘシ(三十八年訓令二十八號改正)

第六條 物品出納命令ノ委任ヲ受ケタル部局長ハ總テ物品ノ保管出納ニ就テ監督ノ責ニ任シ縣出納吏ハ貯藏物品ノ保管出納ノ責ヲ有スルノ外係其ノ他特ニ設ケル事務所ノ共用若クハ官吏職員ノ專用物品ニ就テモ尙監督ノ責ニ任スヘシ(上全)

共用物品ニ就テハ當該管理係ノ係ヲ置カサルトキハ上席ノ官專用物品ニ就テハ專用者各保管ノ責ニ任スヘシ(上全)

縣會議場、縣參事會場、應接所、控所、宿直室、小使詰所、炊事場等ニ配置スル物品其ノ他種畜類ニ就テハ各管理係ノ上席者ヲ保管者トシ病院、驅黴院ニ於ケル藥劑及調劑用消毒費物品ニ就テハ病院ニアリテハ上席ノ調劑員、驅黴院ニアリテハ上席ノ醫員、農事及水産試驗場ノ作業ニ於ケル需用素品肥料、介種及器具類、械類ヲ包含スニ就テハ當該上席職員ヲ專用者トス其ノ需用者ノ一定セサル試驗檢査若クハ學科實驗用品ニ於ケル專用者モ亦之ニ準ス(上全)

第七條 物品ヲ別テテ備品、消耗品ノ二種トシ歲出所屬ノ費途毎ニ區分シ尙勳物又ハ特ニ使用ノ目的アル物品標本類、教授用器械、圖書類、治療用器械藥品類、生徒寄宿舎用品其ノ他之ニ類スルモノ及ヒ製造品ノ類ハ其ノ目的若クハ種目ニ據リ分類スヘシ

第二章 會計年度及所屬ノ區分

第八條 物品ノ會計ハ年度ヲ以テ區分シ每四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル十二箇月ヲ以テ一箇年度トス

第九條 物品ノ會計ハ規ニ出納ノ執行ヲナシタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分スヘシ

第三章 購入及賣却

第十條 縣有財產管理規則第四條第二項第二號四號又ハ縣會計規則第四十二條但書十一號十五號ニ依リ隨意契約ヲ以テ物品ヲ購入シ修理シ若クハ賣却スルトキハ左號ニ依ルヘシ

- 一 物品ノ購入又ハ修理ヲ要スルトキハ當業者二人以上ヨリ代價若クハ修理費見積書類並購入品ニ就テハ見本品修理ニ就テハ仕様書ヲ徴シ適當ノ品質又ハ仕様ヲ鑑定シ廉價ナルモノニ就キ契約スヘシ但シ見本品又ハ仕様ノ鑑定ヲ必要トセサルトキハ之ヲ徴セサルヲ得
- 二 物品ヲ賣却スルトキハ便宜ノ方法ヲ以テ二人以上ノ買受望人ヲ募リ買受代價見積書ヲ徴シ其ノ高價ナルモノニ就キ契約スヘシ

第十一條 物品ノ賣買及修理ニシテ見積價額金拾圓未滿ナルトキ又ハ賣買修理望人二人以上無キトキ若クハ當業者遠隔ノ地ニ在テ便宜ヲ得サルトキハ第十條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第十二條 物品ハ需用ノ都度購入スヘシ但シ警備用品及給與貸與其ノ他特ニ供

給定度ノ規定アルモノノ製作素品、治療用藥品調劑料品、用紙、燃料、點燈油ノ類ニシテ用途ノ目的ニ據リ準備貯藏又ハ調製ヲ要スルトキハ此ノ限ニアラス

第四章 保管及出納

第十三條 縣出納吏ノ保管スル貯藏物品ハ鎖鑰アル倉庫又ハ適當ナル場所ニ納メ其ノ鑰ハ封緘ヲナシ常ニ知事又ハ部長ニ於テ定メタル監守ニ付スヘシ

第十四條 備品ニハ品質ニ依リ標記シ難キモノノ外縣廳(警察部ヲ除ク)ニアリテハ縣廳名部局ニアリテハ部局名ヲ標記スヘシ(明治四十三年訓令第三十號改正)

第十五條 縣出納吏ハ必要ニ依リ自己ノ責任ヲ以テ他ノ職員ニ物品ノ保管ヲ依託スルコトヲ得

第十六條 縣出納吏ハ命令ニ據ルニアラサレハ物品ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 物品ハ需用ノ數量ニ應シ供給スヘシ但シ左ニ掲クル一號ハ一箇月以内ノ消費概算額ニ號ハ需用ノトキ消費概算額ヲ以テ供給ノ際拂切リト爲スコトヲ得

一 常用薪炭油紙類

二 農産又ハ水産物ノ試験作業、衛生品検査其ノ他學科實驗用消費ノ物品
消耗品ハ概算渡ヲ爲スコトヲ得但シ郵便切手ハ一時ニ一箇月分ノ消費概算額ヲ越ヘサルヲ要ス

年度轉遷ノ際拂切リト爲シタル消耗品ノ遺拂殘餘又ハ概算渡ノ精算殘餘アル

(取換)

トキハ速ニ縣出納吏ニ還付スヘシ

第十八條 物品ヲ亡失毀損シタルトキハ當該部局長ハ責任者ヲ明カニシ其ノ顛末並ニ亡失毀損當時ノ見積價額ヲ詳具シテ知事ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 試験作業等ノ製造品又ハ生産物ハ其ノ製造又ハ收穫ヲ了ヘタルトキ當該作業管理者之ヲ縣出納吏ニ引繼クヘシ

第十九條ノ一 出張先ニ於テ購入シタル物品消費シタルモノヲ除クハ其ノ年月日、品目、數量、價格、所屬ノ費途並ニ營業者ノ住所氏名ヲ詳悉シタル目錄ヲ調製シ歸廳後十日以内ニ之ヲ縣出納吏ニ引繼クヘシ(明治四十二年縣訓令第三十號追加)

第二十條 部局長ハ毎年度一回以上縣出納吏ノ貯藏物品及共用専用ノ備品ヲ點檢シ帳簿上ノ現在數量額ニ對照シ其ノ顛末ヲ知事ニ報告スヘシ

第五章 計算整理及帳簿

第二十一條 物品ノ出納ハ消耗、賣却、讓與、保管轉換拂、寄贈、亡失、毀損作業其ノ他生産ノ爲メ供給等縣出納吏ノ保管ヲ離ル、ヲ出トシ購入、讓受、保管轉換受、受贈、還納、製造品、生産物ノ受入等縣出納吏ノ保管ニ屬スルヲ納トシ出納ノ都度記帳計算ノ整理ヲ爲スヘシ

第二十二條 物品修理用品及消耗品ヲ除クノ計算價格ハ購買代價ニ據ル其ノ讓受、保管轉換受、受贈等ノ物品ニ就テハ特ニ價格ノ定メアルモノ、外ハ縣廳(警察部ヲ除ク)ニアリテハ内務部長部局ニアリテハ部局長ニ於テ其ノ價格ヲ査定スルモノトス

(明治四十三年訓令第三十號改正)

- 第二十三條 部局ハ縣出納吏ノ物品出納計算整理ノ須要ニ應シ左ノ帳簿ヲ設ク
 (但シ備品ノ供用受拂及在庫物品ノ計算整理ニ就テハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ備品出納簿ニ登記ヲ省畧スルコトヲ得)
- 一 縣有備品出納簿 第一號樣式
 - 二 縣有作業備品出納簿 第一號樣式
 - 三 縣有消耗品出納簿 第二號樣式
 - 四 縣有作業消耗品出納簿 第二號樣式
 - 五 縣有作業製造生産物品出納簿 第二號樣式
- 部局ハ前各號ノ外必要ニ應シ適宜帳簿ヲ設クルコトヲ得
- 第二十四條 共用物品ノ保管者及第六條第三項ノ專用者ハ其ノ責任ニ係ル物品ノ保管出納計算ヲ整理スル爲メ須要ニ應シ第二十三條帳簿樣式ニ準據シ適宜ノ帳簿ヲ設備スヘシ
- 第二十五條 縣出納吏ハ毎年度第三號樣式ニ依リ備品出納計算書ヲ調製シ五月三十一日限リ部局長ヲ經由シ知事ニ提出スヘシ
- 第二十六條 消耗品ノ概算渡ヲ受ケタルモノハ消費豫定日數經過後臨時出張職員ニアリテハ歸廳後十日以内ニ其ノ精算ヲ爲スヘシ年度轉遷ノトキ又ハ臨時出張五十日ヲ經過スルトキハ其ノ際打切り精算ヲ要ス

(取換)

- 第二十七條 縣出納吏交替シタルトキハ其ノ際打切り自己ノ責任ニ屬スル物品其ノ他事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ但シ自身引繼ヲ爲シ能ハサル場合ニ於テハ知事又ハ部局長ハ特ニ部下ノ職員ニ命シ後任者立會ヲ以テ本條ノ引繼ヲ爲スヘシ
- 第二十八條 共用品ノ保管者及第六條第三項ノ專用者交替シタルトキハ前條ヲ準用ス
- 第二十九條 縣出納吏交替シタルトキ前任者ノ取扱ニ屬スル出納計算ハ尙後任者ノ計算ニ併セ證明スヘシ

附 則

- 第三十條 令訓告示書、官報、法令全書、職員錄、曆新聞雜誌ノ類、新年式門飾、不淨物、掃寄反古紙、修理品及出張先ニ於テ購入消費シタル物品出納ハ第二十三條ノ帳簿ニ登記ヲ省畧スルモノトス (明治四十三年訓令第三十號改正)
- 第三十一條 備品ニシテ供給ノ際拂切りト爲シ得ル品目ハ内務部長之ヲ通知スヘシ (明治三十八年訓令第二十八號及明治四十三年訓令第三十號改正)
- 第三十二條 土木工事用ノ物品ニ就テハ此ノ規則ヲ適用セス
- 第三十三條 知事官房各部課及其ノ他部局ニ於ケル從前ノ物品取扱主任者ノ事務ハ當該課係等知事官房其ノ他課係ノ共用品保管者又ハ第六條第三項ノ專用者タルヘキモノ此ヲ繼承スヘシ

第三十四條 從前設備ノ帳簿ハ便宜繼續使用スルコトヲ得

第三十五條 此ノ規則ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス但シ第二十三條第二十四條ハ明治三十五年度所屬ヨリ施行ス

備考

本規則ハ明治四十年八月十日島根縣訓令第四十二號ヲ以テ町村役場(隱岐國ヲ除ク)ニ訓令セリ

(取換)

○市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法

納金收入額報告方

島 廳 郡 役 所

明治四十三年五月二日
島根縣訓令第三十八號

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項ニ依リ納付セシ町村納金ハ左記書式ニ依リ毎年五月三十一日限り前年度ノ收入額ヲ報告スヘシ
明治三十五年ハ島根縣學第五十三號ハ廢止ス

(書式)

町村納金收入額報告

一金 若干

但市町村立小學校教員退隱料及扶助料法第十四條第二項ニ依リ明治何年度ニ於テ收入シタル町村納金高

内 譯

金 若干

但市町村立小學校教員給料額ニ當ル納金高

金 若干

但實業補習學校正教員給料額ニ當ル納金高

右報告候也

年 月 日

島司(郡長) 氏 名

知事宛

(取換)

○島根縣歲入歲出及雜部金收支證明規程

明治三十五年七月二十二日
島根縣訓令第五十六號

知事官房 內務部 警察部 島 廳
郡役所 縣立學校 市役所 (其他ハ省署ス)

島根縣歲入歲出及雜部金收支證明規程

第一條 縣會計規則ニ依リ提出スヘキ歲入歲出及雜部金ノ計算書ハ第一號乃至

第四號様式ニ依リ調製シ左ノ期限以內ニ發送スヘシ(三十六年訓令
五十五號改正)

縣金庫ノ附屬セル部局 歲入歲出(經常部及臨時部
特別會計) 每二ヶ月分 翌月七日以內

現金前渡ヲ受ケタル縣出納吏 歲 出 每一ヶ月分 翌月七日以內

各部局 雜部金 每六ヶ月分 翌月七日以內

收支ヲ完了シタルトキハ前項ノ期限ニ拘ハラヌ完了後七日以內ニ發送スヘシ

第二條 概算渡金ノ精算証書ハ仕拂又ハ事務完了後七日以內ニ提出スヘシ但シ

五十日以上ニ涉ルモノニ付テハ五十日毎ニ調製シ經過後七日以內ニ發送スヘシ(全上)

第三條 歲入決算證明ニ就キ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルモノアルトキハ每期收

入計算書ノ備考ニ金額其ノ他要領ヲ記載スヘシ但シ事ノ複雜ニ涉ルモノアル

- トキハ別ニ證明書ヲ添付スルコトヲ得
- 一 收入調定額ニ減額ヲ生シタルトキ
- 二 缺損額ヲ生シタルトキ
- 三 科目ノ誤謬ヲ發見シ及其ノ訂正ヲナシタルトキ
- 四 過誤納ヲ發見シ及其ノ拂戻ヲ爲シタルトキ(明治四十三年訓令第七號改正)
- 右ノ外特ニ事由ヲ示サレハ明瞭セサル事項アルトキ
- 第四條 貸付金其ノ他債務辨濟ニ係ル收入アルトキハ該期收入計算書ニ第五號様式ニ依リ收入額事由明細書ヲ調製添付スヘシ但シ市長ハ收入金納付ノ際本項明細書ヲ添付スヘシ
- 最終收入計算書ニハ第六號様式ニ依リ收入額事由明細書ヲ調製添付スヘシ(明治四十三年訓令第七號改正)
- 第五條 歳入ニ對スル縣金庫領收濟通知書其ノ他證憑書類ハ特ニ必要トスル場合ノ外提出ヲ要セス
- 第六條 歳出決算證明ニ就キ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルモノアルトキハ每期支出計算書ノ備考ニ金額其ノ他要領ヲ記載スヘシ但シ事ノ複雑ニ涉ルモノアルトキハ別ニ説明書ヲ添付スルコトヲ得
- 一 豫算ノ増減及流用増減アリタルトキ訓令若クハ許可指令ノ年月日番號ヲ明記ヲ要ス
- 二 科目ノ誤謬ヲ發見シ及其ノ訂正ヲラナシタルトキ

(取換)

- 三 過誤拂ヲ發見シ及其ノ返納ヲ受ケタルトキ
- 右ノ外特ニ事由ヲ示サレハ明瞭セサル事項アルトキ
- 第七條 (削除明治四十三年訓令第七號)
- 第八條 歳出支拂ニ對スル正當受取人ノ領收証書現金前渡仕拂ノ領收証書、送金仕拂ニ就テハ縣金庫ノ送金仕拂命令領收証書、定額戻入其ノ他仕拂ニ關スル証憑書及左ニ掲クル証憑書類ハ每期支出計算書發送期限後五日以内ニ發送提出スヘシ但シ物件ノ購買借入費一項金高五拾圓未滿ノモノ及建築修繕其ノ他建物附屬工事費一廉金高壹百五拾圓未滿ノモノハ工事ノ設計若クハ仕様書及該竣功明細書類ヲ除クノ外ハ特ニ必要トスル場合ノ外提出ヲ要セス(三十九年訓令五十號三十七年訓令二十四號及明治四十三年訓令第七號改正)
- 一 建築修繕其ノ他附屬工事若クハ物件ノ購買借入ヲ競争ニ付シタルモノハ其ノ競争公告書按及設計若クハ仕様ノ決議書類
- 二 豫定價格若クハ借料決議書類
- 三 契約決議書類及契約書類隨意契約ニ係ル請書、價格表、賣價廣告書又ハ借料等ノ見積書類ヲ包含ス
- 四 競争入札書ノ落札ヨリ第三番札迄但シ再三競争ニ付シタル場合ハ初度ノ競争ヨリ最終競争マテ各第一番ヨリ第三番迄ノ入札書トモ
- 五 競争ノ結果不成立ニ歸シ隨意契約ヲナシタルモノハ初度ノ競争ヨリ最終競争マテ各第一番ヨリ第三番迄ノ入札書

六 建築修繕具ノ他附屬工事ノ竣功明細書類

前各號ノ書類ニシテ別段ノ規程ニ依リ提出スルモノハ其旨ヲ領收證書ニ辨明スヘシ

第九條 仕拂金ニ對シ領收證書ヲ徴シ難キ正當ノ事由アルモノハ當該吏員ノ作リタル仕拂證明書ヲ提出スヘシ但シ本書ニハ當該部局長ノ認可證印若クハ認可書ノ添付ヲ要ス出張先ノ他臨時ノ場合ニ於テ官吏職員ノ繰替タル支出金ノ領收證書ニハ其ノ繰替仕拂金ニ對スル受取人ノ領收證書添付スヘシ第十條 仕拂ノ證憑書類ニハ仕拂ノ事由及數量單價アルモノハ其ノ單價等計算ノ基礎トナルヘキモノ、詳悉ヲ要ス其ノ概要左ノ如シ

一 工事費ノ類ハ工事ノ着手竣功^{既濟部分ニ對スル仕切}並ニ檢査濟ノ年月日及工事ノ既濟若クハ物品ノ既納部分^{精算ノモノヲ包含ス}ニ對シ完濟前ニ其ノ費用ヲ仕拂タルモノハ總費額及受領濟額アルトキハ其金額及工事ノ既濟未濟、物品ノ既納未納額等ノ事由^(三十七年訓令第二十四號及明治四十二年訓令第七號改正)

二 俸給ノ手當ノ如キ支給額ノ定マラタルモノニシテ任免等ニ依リ給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其ノ事由及年月日、等級アルモノハ其ノ等級並ニ官職、日給者ニ就キテハ出勤日數及欠勤アルトキハ其ノ日及事故
三 文官判任以上又ハ學校職員ノ遺族扶助法納金並ニ巡查俸給ニ於ケル懲罰金其ノ他仕拂金ノ内ヨリ相殺收入スルモノアルトキハ其ノ事由金額及現

(取換)

金支給高^(明治四十三年訓令第七號改正)

四 賞與金、慰勞、給助金ノ類ニシテ給與期アルモノハ其ノ期、隨時給與ノモノハ給與發令ノ年月日

五 退官退職一時賜金ノ類ハ其ノ任官職及退官職ノ年月日並在官年數及退官職現時ノ俸給額及給與發令ノ年月日^(明治四十三年訓令第七號改正)

六 旅費ハ用名、旅行年月日、里程用地名、宿泊地名及日當額、宿泊料、車馬賃、汽車賃、汽船賃等單金額、月額又ハ日額、旅費ニ就テハ用名、旅行年月日、發着地並ニ用地名、月額又ハ日額概算渡アルトキハ其ノ金額及受領年月日但シ迂路ヲ經テ旅行シ又ハ病氣若クハ風待船待等ノ事項ニ依リ執務外ニ滞在シ若クハ旅費ノ實費拂、割増支給ノ支拂ニ就テハ其ノ事由並ニ知事又ハ部局長ノ認許書、滞在地官公署又ハ旅宿主ノ滞在證明書、實費拂又ハ割増仕拂ニ就テハ其ノ實費ヲ證スル書類^(上全)

七 諸職工、人夫、舟車馬類備賃ノ類ハ其ノ備使ノ事由年月日荷物運搬夫、飛脚賃ノ如キハ發着地名、里程又ハ度數トモ

八 被服料、賄料、電話料ノ類ハ當該使用期間、個數、宿直度數面會先、通話數並ニ年月日^(上全)

九 諸譯紙其ノ他各種ノ印刷又ハ筆工料ノ類ハ各要所ノ事由及件名、紙數、部數、現品納濟年月日

- 十 物貨運賃若クハ送金手数料、新聞紙廣告料ノ類ハ件名、物貨發送受送又ハ送金依託廣告ノ年月日事由、運送物貨ノ品目、個數、量目、度數
- 十一 郵便爲替並ニ書留手數料及書留小包郵便税ノ類ハ該爲替金又ハ郵便物ノ受領證書(全)
- 十二 物件ノ購入又ハ修繕代金其ノ他借入料ノ類ハ其ノ種類、數量、所要ノ事由、契約並ニ物件納濟ノ年月日、使用期間但シ椅子卓子又ハ日用ノ薪炭油類等ノ如キ用途ノ明カナルモノハ所要ノ事由ヲ省畧スルコトヲ得(全)
- 十三 救助米代ノ類ハ疾病、幼弱、棄兒、遺兒、迷兒等教育ノ事項、救助期間、年額、月額、日額、米相場、年齢及救助ヲ廢止シタルトキハ其ノ事由年月日
- 十四 事業補助費、獎勵費ノ類ハ其ノ補助若クハ獎勵事業ノ要領及許可指令又ハ訓令ノ年月日、番號仕拂時期ノ定メアルモノハ其時期、數年ニ涉ルモノハ總額及年別金額但シ事業ノ報告其ノ他検査後交付ノ規程アルモノハ該報告又ハ検査濟年月日(全)
- 十五 郵便税又ハ電信料電話料ノ繰替拂ニ係ルモノハ其ノ發着場所、通信事項、字數通話數若クハ量目、發信年月日(全)
- 十六 年度開始前ノ契約若クハ前金拂ノモノニアリテハ其ノ事由若クハ許可指令ノ年月日、番號
- 第十七條 縣金庫ノ送金仕拂命令領收證書ニハ第十條ニ依リ事由ヲ詳悉シタル

(取換)

仕拂請求書又仕拂證書ノ類ヲ添付スヘシ但シ當該主任者ニ於テ送金仕拂命令領收證書ノ餘白ニ債權者ノ住所其ノ他第十條ノ事由ヲ詳悉シ本文書ノ類ヲ添付セサルコトヲ得(明治四十三年訓令第七號改正)

第十二條 收支ノ證憑書類ニシテ其ノ目的若クハ計算ノ基礎等要領ヲ得サルモノ若クハ豫算外ニ生シタル事件ノ費用ニシテ豫備費ヲ以テ支出シタルモノアルトキハ當該主任者ハ其ノ要領ヲ證明スヘシ(全上)

第十三條 証憑書類ハ收支計算書毎ニ摘要ノ項目ニ依リ類編シ付スルニ表紙ヲ以テシ之ニ所屬年度經常又ハ臨時及特別會計歳入歳出ノ區分、款、項、目、金額、雜部ハ年度、受拂ノ區分、事項、金額及當該部局名若クハ縣出納吏ノ官職氏名ヲ表記スヘシ但シ証憑書類ノ編纂上紙數僅少ナルモノ及目毎ニ類編シ能ハサルモノハ一欸中各項目ヲ合冊トシ又ハ項毎ニ類編シ本條ノ要件ヲ表記スルコトヲ得

第十四條 送金仕拂取消ニ依ル戻入証憑書ニハ縣金庫ノ事由報告書、概算拂ノ精算證書ニハ概算仕拂領收證書ヲ添付スヘシ但概算仕拂ノ期ニ於テ精算未済ノモノアルトキハ一廉毎ニ其ノ仕拂金額事由仕拂年月日及受取人ノ官職氏名ヲ記載シタル仕譯書ヲ以テ毎月証憑書ノ末尾ニ編入証明シ其ノ概算證書並ニ概算仕拂領收證書ハ追テ精算ノ期ニ於テ別冊トシテ提出スヘシ(三十)

現金前渡拂ニ係ル概算証憑書ハ其ノ精算ヲナシタル期ニ於テ提出スヘシ(六十六年)

訓令第五
十號改正

第十五條 收支証憑書類ニシテ科目ノ混淆シタルモノアルトキハ之ヲ甲科目ニ編入シ乙科目ニ屬スル事項ニハ所屬科目ヲ朱書シ置キ乙科目ニハ事項、金額、原本編入所在ノ科目其ノ他要領ヲ具シタル寫ヲ編入スヘシ

第十六條 証憑書類ノ編小又ハ損傷シタルモノアルトキハ之ヲ全紙ニ貼付シ主任者之ニ契印シ置クヘシ

第十七條 縣稅ニ係ル諸營業届並ニ課稅標準其他異動届及廢業届ハ各分類シ町村毎ニ區分編纂スヘシ(明治四十三年訓令第七號改正)

縣稅營業者異動ニ係ル警察署、分署ノ通知書ハ之ヲ一括トシ編纂スヘシ
貸席及娼妓營業ニ關スル警察署分署ノ通知書其ノ他査動届書類亦前項ニ依ルヘシ

第十八條 收支ノ証憑書ニ附屬書アルトキハ順次番號ヲ附シ其最終ニハ最終ナルコトヲモ記載シ置クヘシ

第十九條 証憑書類ニシテ若シ原本ヲ提出シ難キトキハ當該部局長ノ作リタル謄本ヲ以テ之ニ代ルコトヲ得

第二十條 証憑書類ニハ鉛筆其ノ他文字ノ消滅シ易キ液汁等ヲ以テ記載シタルモノナキヲ要ス

領收証書ノ字體及印影ハ明瞭ナルヲ要ス其ノ金額ハ壹、貳、拾ノ數字ヲ用ヒ若

(取換)

シ票脫字等アリタルトキハ其全項ヲ抹消シ傍ニ正字ヲ明記シ氏名ノ下ニ押捺シタル印章ヲ以テ之ニ証印スヘシ

第二十一條 縣金庫ノ附屬セル收支命令ノ委任ヲ受ケタル部局長ハ第十號及第十一號様式ニ依リ其ノ主管ニ屬スル毎年度歳入縣稅收入額事由明細書及當該部局ノ經費豫算額ニ對スル決算説明書ヲ調製シ收入額事由明細書ハ翌年度七月十日、決算説明書ハ翌年度六月二十日迄ニ發送知事ニ提出スヘシ(明治四十年訓令第七號改正)

甲部局ノ經費ニシテ乙局部ニ於テ支出シタルモノニ就テハ乙部局長ハ翌年度六月十日迄ニ支出決算額ヲ甲部局長ニ移牒スヘシ甲部局長ハ第十一號様式ニ依リ決算説明書ヲ調製シ翌年度六月二十日迄ニ發送知事ニ呈出スヘシ(上全)
前長ハ第六號及第十號様式ニ依リ其ノ主管ニ屬スル毎年度歳入縣稅收入額事由説明書及縣稅外諸收入額事由明細書ヲ調製シ縣稅收入額事由明細書ハ翌年度七月十日、縣稅外諸收入額事由明細書ハ翌年度六月二十日迄ニ發送知事ニ提出スヘシ(上全)

第二十二條 雜部金ノ受拂決算證明ニ就テハ尚ホ第三條第五條第六條ヲモ準用スヘシ

附 則

第二十三條 明治三十五年度所屬ノ收支計算書ハ整理完了迄從前ノ様式ニ據ル

コトヲ得

(計算書類様式畧ス)

[Faint, mostly illegible text within a large rectangular frame, likely a table or detailed list of financial items.]

明治四拾叁年拾貳月六日印刷
明治四拾叁年拾貳月拾四日發行

定價金參拾五錢

編纂者 島根縣松江市奥谷百貳拾五番地 藤岡 宏 一

編纂者兼發行者 島根縣松江市殿町壹番地 島根縣私立教育會

代表者 木田 嘉種

印刷者 島根縣松江市殿町百拾番地ノ貳 吉村 慎知

印刷所 島根縣松江市殿町百拾番地ノ貳 第貳活版所



